

はつらつ体験塾 通信

日帰りミニキャンプ in 妙高 号 令和6年10月吉日
新潟県少年自然の家

時には職人のように

9月22日(日)に国立妙高青少年自然の家で「はつらつ体験塾日帰りミニキャンプ in 妙高」を開催しました。小中学生8人と保護者5人の計13人で楽しく活動しました。

9:00	9:15	9:30	12:30	13:00	14:30	15:00
受付	出会いの つどい	そば打ち体験・昼食	休憩	勾玉 づくり	振り返り	別れの つどい

午前の活動は「そば打ち」です。名人の見事な手さばきを初めて見る、子どもたちは興味深々です。そば打ちの技法の一つである「菊練り」を見て「肉まんだー!」と一言。どんどんと伸びていく生地を見ると「ピザみたい」と発言するなどそば打ちのコツや方法を自分の経験や知識とつなぎ合わせて覚えようとする前向きな姿が多く見られました。名人のお手本を見たら、いよいよ班ごとにそば打ちがスタートです。そば粉と小麦粉を6対4の割合で指先を使って混ぜ合わせます。少しずつ水を入れながら班の全員で協力しながら笑顔で取り組む姿がとても印象的でした。次はのし板に打ち粉をふり、のし棒を使って生地を薄く伸ばしていきます。「ここが厚いよ」「がんばって0.5ミリにしよう!」などしっかりと声を掛け合いながら取り組むことができました。最後は食べやすい大きさに切ります。けがをしないように慎重に。不揃いのそばができたとしても終始笑顔で取り組むことができました。打ち立て、ゆでたてのそばは香りがよく、みんなが「おいしい!」と言いながら食べていました。とてもよい体験活動でした。



午後は「オリエンテーリング」を予定していましたが、雨天のため、勾玉づくりをしました。

そば職人から午後は勾玉職人へ変身! 石に自分の作りたいデザインを描いたら、やすりを使って削っていきます。子どもたちの集中力はとても高く、石を削る作業に没頭していました。成形できたら次は磨く作業です。水につけて専用の紙で磨くとツルツル、ピカピカになります。最後は自分の好きな色と首にかけるひもをつけて完成! 形も色も多様な勾玉を見て、称賛したり拍手を送り合ったりする姿がとても素敵でした。



また、参加してくださいね♪

はつらつ体験塾担当: 須田洋介・星野貴之・保坂吉彦